【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2007-236834(P2007-236834A)
【公開日】平成19年9月20日(2007.9.20)
【年通号数】公開・登録公報2007-036
【出願番号】特願2006-66914(P2006-66914)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｚ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｖ

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月24日(2009.2.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
固定枠に対し一側部を中心に開閉可能に軸支された扉体と、
前記扉体の前面側に設けられ、遊技球を貯留可能な第１球受皿と、
前記扉体の前面側かつ前記第１球受皿の下方位置に設けられ、遊技球を貯留可能な第２球受皿と、
前記扉体の背面側に設けられ、遊技球を払出可能な払出装置と、
前記払出装置から払出された遊技球を前記第１球受皿へ導く第１球通路と、
前記第１球受皿が満杯状態となった場合に当該第１球受皿に受け入れられない遊技球を前記第２球受皿へ導く第２球通路と、
前記第２球通路に隣接して設置されるとともに、前記第２球受皿が満杯状態となった場合に当該第２球受皿に受け入れられない遊技球が前記第２球通路の所定地点まで溜まった旨を検出する満杯検出機構とを備えた遊技機において、
前記満杯検出機構は、前記第２球通路の通路壁に開口した開口部を介して通路内に臨む可動片と、当該可動片の変位を検知する検出手段とから構成され、
前記可動片は、通路外に配置されるとともに、上端部にて回動自在に軸支された本体部と、当該本体部の通路側に突出形成された突出部とを備え、
前記突出部において、通路外から通路内に向けて前記開口部を横切って下方へ傾斜する傾斜面を形成したことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記可動片は、前記突出部の形成位置よりも下方位置において、前記本体部から前記検出手段側へ突出し、かつ、前記検出手段に作用する作用部を備えていることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記可動片の前記検出手段側への所定量以上の変位を規制する規制手段を備えたことを特徴とする請求項１又は２に記載の遊技機。